

平成 30 年度(2018 年度)大阪府豊能地区公立小・中学校教員採用選考テスト面接（模擬授業）  
実施案内

1. 実施方法

出願した「校種・教科等」において、次の表中に示す「模擬授業の内容」を扱った授業を構想し、その一部の授業を模擬授業として行ってください。また、◇印のあるものは、その内容についての模擬授業を行ってください。（◇印のないものは、指定する学習指導要領に沿った授業をおこなうこと。）

2. 模擬授業について

- (1) 模擬授業の時間は入室から授業終了までの 5 分間です。模擬授業は「模擬授業の内容」に即して、事前に準備した上で行ってください。
- (2) 面接室にはホワイトボード、マーカー（黒・赤・青 各 1 本）が用意してあります。
- (3) 模擬授業は、必ずしも授業の“導入”部分から行う必要はありません。途中の“展開”部分や“まとめ”部分から授業を始めていただいて構いません。  
⇒ 模擬授業は、時間内に授業をまとめる必要はなく、授業内容の途中で終わっても構いません。  
⇒ 「模擬授業の内容」と直接関係のない“導入”部分は不要です。
- (4) 模擬授業の進行上、図や長文などホワイトボードに書くにあたって時間を要するものに関しては、ホワイトボードに書いてあるものと想定して授業を行っても構いません。
- (5) 面接員を児童生徒と想定して授業を行ってください。ただし、面接員は発言等を行ったり、反応したりしません。
- (6) 模擬授業に持ち込み可能なものは※模擬授業メモ（1 枚）のみです。  
⇒ 授業を行うに当たっては、模擬授業メモを見ながら授業を行っても構いません。
- (7) 模擬授業の終了後、引き続き同じ面接室で個人面接（15 分間）を行います。  
⇒ 個人面接において、模擬授業に関する質問がされる場合があります。

※模擬授業メモ（A4 サイズの用紙に限る）

- ・授業案、板書や授業用のメモなど模擬授業に必要な内容を自由にお書きください。また、本や教材などをコピーしたものでも構いません。両面を使用することも可能です。
- ・このメモは、模擬授業中に見る以外の使用は一切しないでください。  
⇒ 他の物品については一切持ち込むことはできませんので、ご注意ください  
⇒ 模擬授業メモは評価の対象とはしません。提出は不要です。

校種・教科等	模 擬 授 業 の 内 容
小学校	≪小学校学習指導要領 p.23 国語【第3学年及び第4学年】 2 内容≫ 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 (1) 「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び「C 読むこと」の指導を通して、次の事項について指導する。 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。

<p>中学校・国語</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.23～p.24 国語 [第2学年] 2 内容》</p> <p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くこと的能力を育成するため、次の事項について指導する。</p> <p>イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的な部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。</p> <p>(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。</p> <p>ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。</p> <p>◇調べ学習で作成した原稿をもとに効果的な発表の方法について、班で討議させる。その事前指導を行うこと。</p>
<p>中学校・社会</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.37 社会 [歴史的分野] 2 内容》</p> <p>(5) 近代の日本と世界</p> <p>イ 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。</p>
<p>中学校・数学</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.52 数学 [第3学年] 2 内容》</p> <p>A 数と式</p> <p>(1) 正の数の平方根について理解し、それを用いて表現し考察することができるようにする。</p> <p>ア 数の平方根の必要性和意味を理解すること。</p>
<p>中学校・理科</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.58 理科 [第1分野] 2 内容》</p> <p>(1) 身近な物理現象</p> <p>イ 力と圧力</p> <p>(イ) 圧力</p> <p>圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを見いだすこと。また、水圧や大気圧の実験を行い、その結果を水や空気の重さと関連付けてとらえること。</p>
<p>中学校・音楽</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.74 音楽 [第1学年] 2 内容》</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。</p> <p>[共通事項]</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ること。</p>
<p>中学校・美術</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.82 美術 [第2学年及び第3学年] 2 内容》</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、鑑賞に関する次の事項を指導する。</p> <p>[次ページに続く]</p>

中学校・美術	イ 美術作品などに取り入れられている自然のよさや、自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から、生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解すること。
中学校・保健体育	<p>《中学校学習指導要領 p.95 保健体育〔保健分野〕 2 内容》</p> <p>(3) 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。</p> <p>ウ 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。</p>
中学校・技術	<p>《中学校学習指導要領 p.98 技術・家庭〔技術分野〕 2 内容》</p> <p>A 材料と加工に関する技術</p> <p>(2) 材料と加工法について、次の事項を指導する。</p> <p>イ 材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できること。</p>
中学校・家庭	<p>《中学校学習指導要領 p.101 技術・家庭〔家庭分野〕 2 内容》</p> <p>C 衣生活・住生活と自立</p> <p>(1) 衣服の選択と手入れについて、次の事項を指導する。</p> <p>ア 衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できること。</p>
中学校・英語	<p>《中学校学習指導要領 p.105～108 外国語 英語 2 内容》</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>イ 話すこと</p> <p>(7) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。</p> <p>(2) 言語活動の取り扱い</p> <p>イ 生徒の学習段階を考慮して各学年の指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <p>(イ) 第2学年における言語活動</p> <p>第1学年の学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きを更に広げた言語活動を行わせること。その際、第1学年における学習内容を繰り返して指導し定着を図るとともに、事実関係を伝えたり、物事について判断したりした内容などの中からコミュニケーションを図れるような話題を取り上げること。</p>

◎表内に示されているページは、文部科学省により発行されている学習指導要領（小学校・中学校）〔平成20年3月告示〕のページ数を表しています。WEBページ上のもではありませんので注意してください。

◎模擬授業に関するご質問については、一切お受けいたしません。この実施案内をしっかりと読んで模擬授業に備えてください。